

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人福岡育英学園 浅川幼稚園

1. 本園の教育目標

- ①自然を愛し、美しいものに感動できる ②衣服の着脱などを自分でできる ③友達と一緒に生活する中で、協力しあう、思いやる心を身につける ④人の話を聞き、自分の考えを言葉で伝えることができる
⑤走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な運動能力を身につける

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育方針のもと、その教育目標に沿った評価項目について自己点検・自己評価を実施することによって、教職員が客観的に自らを振り返り、保育内容の改善に取り組んでいく

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育内容を見直し改善を図る	B	園の教育理念・方針に沿った保育計画を立て、教師一人ひとりが意識し、カリキュラムに盛り込み実践し、園児の個人差に対応した
教師としての資質や保育の質の向上	B	教職員の人数不足の中、出来る限り研修会に参加し、教師間の資質向上し、分かち合うことによって幼児理解が深まり、同僚性も育むことが出来た。保育の質の向上は子どもに自信を持たせる保育や仲間を思いやる心を身につけさせる対応ができた
衛生管理	A	教師間にて共通理解し、日常の健康管理は疾病予防のための取り組みが出来た身の回りの衛生管理には特に入念にすることにより、安全性を確保した

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善

評価	理由
C	教職員の交代があり、組織としてのまとまりや教職員間での共通理解の部分で欠けている点を重点的に取り組むことに努めた。今後は、コミュニケーションをしっかりと取り、報告、連絡、相談が出来る組織として、まとまった雰囲気づくりを心がけ、園としての向上を目指すことを再確認した

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
保育のあり方・対応	子どもたちの良いところを伸ばせるよう、子どもたちに自信を持たせる保育を心掛けるとともに、一人ひとりに合った保育を行うようにしたい
教職員相互の協力	正教職員とパートの先生とのきめ細かい連絡、相互理解が図れるようにしたい
環境の構成	遊具点検については、人員不足は理由にならないので、点検の管理を徹底したい

6. 学校関係者評価委員会の評価

- 子ども達のがびのびと自己表現し、園生活において一人ひとりの細やかな保育がなされている。また健康に留意された環境づくりへの努力がなされ、保護者との連携への努力がされている
- ICT化を最大限に活用されている 学校関係者評価委員
- 行事への保護者の参加は、可能な範囲で要望を反映されて、 学校関係者評価委員
健康に留意された環境づくりへの努力がされている 学校関係者評価委員

委員会実施日 令和 6年 3月 29日